

東北大学・読売新聞共同プロジェクト
市民のためのサイエンス講座 2010

「はやぶさ」の奇跡の物語

主催：  東北大学 読売新聞東京本社

「はやぶさ」奇跡の生還に日本中が湧きました。今、日本中が注目するこのプロジェクトについて、リーダーの川口教授をはじめとして、開発初期から回収サンプルの分析に至るまで各分野で関わってきた研究者が一堂に会し、語ります。
奇跡の物語の裏側に迫る講演です。
お誘い合わせのうえ、お越しください。

日時：平成22年12月23日(木・祝)
13:00～17:00 <12:30開場>

場所：東北大学百周年記念会館
川内萩ホール

入場無料 定員1,200名

※下記要領でお申し込みください。
お申し込み多数の場合先着順となります。

■講演

川口 淳一郎 (JAXA) 「はやぶさ」プロジェクトマネージャー

【演題】 探査機「はやぶさ」の挑戦とその成果

出村 裕英 会津大学コンピュータ理工学部

【演題】 「イトカワ」とはどのような小惑星か

吉田 和哉 東北大学大学院工学研究科

【演題】 「はやぶさ」のチャレンジ-岩石採集の話-

中村 智樹 東北大学大学院理学研究科

【演題】 「はやぶさ」が持ち帰った宝物

■パネルディスカッション

コーディネーター 山根 一眞 (著書「小惑星探査機はやぶさの大冒険」ほか)



川口 淳一郎 (JAXA)
「はやぶさ」
プロジェクトマネージャー
(写真提供 JAXA)

■東北大学百周年記念会館 川内萩ホール

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/hagihall/>
〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 40

東北大学百周年記念会館
川内萩ホール
マップ▶

ホールへのアクセス

【バス】

- 仙台駅前 9 番のりばより「宮教大行」「青葉台行」
「青葉通経由動物公園循環」に乗り、
「東北大川内キャンパス・萩ホール前」で下車
(乗車時間約 15 分) 徒歩 3 分
- 仙台駅前 16 番のりばより「広瀬通経由交通公園・
川内(宮)行」または「広瀬通経由交通公園循環」に
乗り、「川内郵便局前」で下車
(乗車時間約 15 分) 徒歩 7 分

【タクシー】

仙台駅から約 10 分、仙台空港から約 40 分

【徒歩】

地下鉄広瀬通駅から徒歩約 25 分、仙台駅から約 40 分

※所要時間は交通状況により異なります。
※できるだけ公共交通機関をご利用ください。



■お申し込み方法

「住所・氏名・職業・年齢・電話番号・希望人数」を明記し、ハガキ、FAX または Eメールでお申し込み下さい。入場整理券を郵送します。

- ハガキ宛先 〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-3-6 読売仙台ビル3階
読売新聞東北総局 「市民のためのサイエンス講座」係
- FAX 送付先 022-222-8386
- Eメール送信先 tohoku@yomiuri.com

■お申し込み締切 いずれも 12 月 16 日(木) 必着

■お問い合わせ 読売新聞東北総局 TEL 022-222-4121
東北大学総務部広報課 TEL 022-217-4977

<http://www.tohoku.ac.jp/japanese/>